

4－6 上下水道・排水対策

施設・設備の適正管理を行うことはもとより、下水道における環境負荷の少ない汚水の排水方法や用水路の清掃活動の徹底などにより、処理機能の向上や維持管理負担の低減を図るとともに、地域の水路の水質浄化を目指します。

○施策体系

- (1) 上下水道の適正管理
- (2) 地域に親しまれる水路の整備
- (3) 雨水排水対策の推進

(1) 上下水道の適正管理

【施策の目標】

施設の管理水準の向上や住民による適正利用を進め、下水道の合理的な運営を図るとともに、衛生的な生活環境を形成します。

【計画指標①】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
施設見学会の参加者累計数	93 人	226 人	300 人

□ 主な取り組み

○ 適正な維持管理の促進

汚水排水の適正処理について普及啓発を行い、適正な処理や維持管理を促進します。また耐用年数を基に作成した修繕計画に基づき処理施設の更新を行います。

□ 関連する事業

名称	コード	具体的内容
合併処理浄化槽助成事業（建）	104020120	設置者を把握し、適正な維持管理を促進する
処理施設維持管理事業（建）	401010210	処理場見学会の実施により、汚水の適正な排水方法を周知する
処理施設建設事業（建）	401010310	農業集落排水施設の更新又は改造の要否、工法等の調査診断する
処理施設総務管理事業（建・税）	401010110	未納者への督促、催告及び税務課との連携徴収を実施する
処理施設修繕事業（建）	401010220	耐用年数を基に作成した修繕計画に基づいて整備更新する

【現状と課題】

- ・ 下水道の整備は概ね完了したため、今後は処理場の更新など、安全で維持管理負担を軽減していくことが必要
- ・ 処理負担が少ない排水方法を各家庭や事業所で実践していくことが重要
- ・ 浄化槽区域である臨港地区において公共下水道の整備に対する検討が必要

(2) 地域に親しまれる水路の整備

【施策の目標】

安定的な水量の確保や住民主導による管理により、排水路の水質浄化と親しまれる親水空間の形成を進めます。

【計画指標①】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
河川としての環境保全基準値をクリアした水質調査地点数	8 地点	4 地点	10 地点

□主な取り組み

○河川・水路の水量・水質の保全

工業用水の取水量を調整することにより、適切な水位の管理を行うとともに、定期的な調査の実施により水質の保全に努めます。

□関連する事業

名称	コード	具体的内容
環境測定事業（保）	104010330	河川及び水路の水質調査を定期的実施し、村ホームページにて公表
農業排水路浄化事業（建）	105010420	工業用水の取水量を調整することで適切な水位の管理を行い、水路環境の向上を図る

【現状と課題】

- ・ 大用水は排水路の水量確保のために県から購入した工業用水を導水しているが、経済的負担の少ない水質保全対策が必要
- ・ 親水空間の形成や防災対策など、排水路に対する多面的な役割が期待

(3) 雨水排水対策の推進

【施策の目標】

雨水排水処理能力を向上し、大雨等による浸水被害や道路冠水のない地域を目指します。

【計画指標①】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
排水路の浚渫箇所数	1 箇所	1 箇所	1 箇所

□ 主な取り組み

○ 既存の排水機能の維持

排水路の浚渫及び排水施設の補修、道路側溝清掃などを推進し、既存の排水機能を保全します。

□ 関連する事業

名称	コード	具体的内容
都市下水路整備事業（建）	107040220	市街化区域の排水路の浚渫及び排水施設の補修を行う
河川総務事務事業（建・経）	107030110	ゲリラ豪雨・台風対策のため巡回・点検の実施

【現状と課題】

- ・ 村内には海拔ゼロメートル地域が広がり、水害に対する潜在的な危険性が高い
- ・ 排水路は堆砂により機能低下することから、定期的な浚渫作業が必要
- ・ 村の東西端を日光川と筏川が流れているが、県による管理であるため、河川の水害対策は協議会等を通じた要望や陳情が中心